

# サンゴ礁に関する モニタリングについて

第4回サンゴ礁保全・再生に向けての  
統合的沿岸管理分科会  
平成20年12月25日

## モニタリングサイト1000

### サンゴ礁分野の調査手法

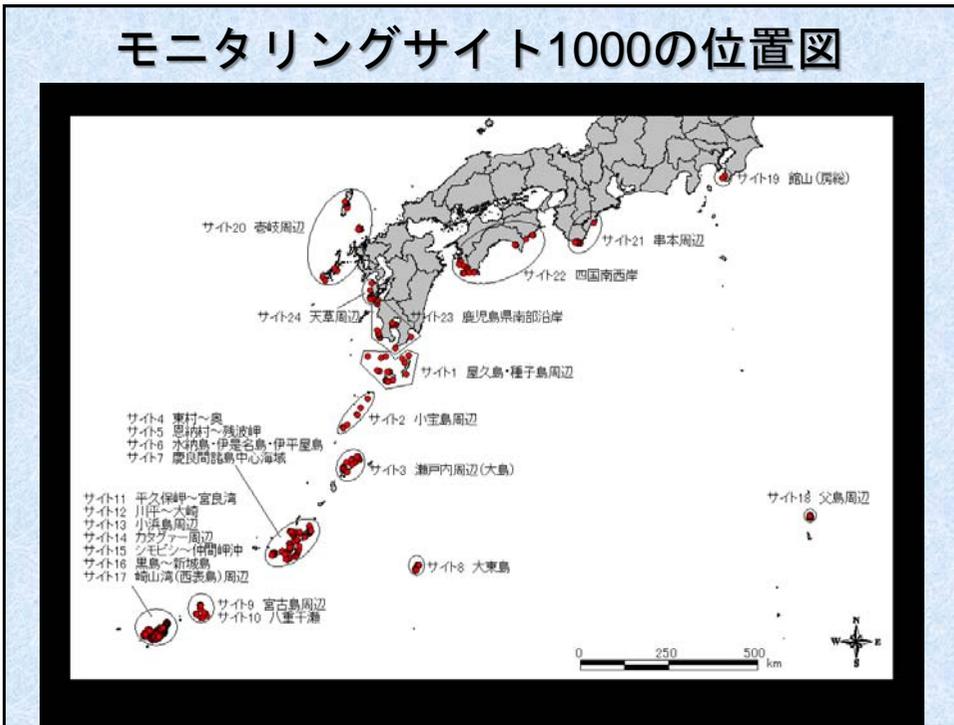
調査サイト等数：24サイト、約450調査地点

手 法：スポットチェック法

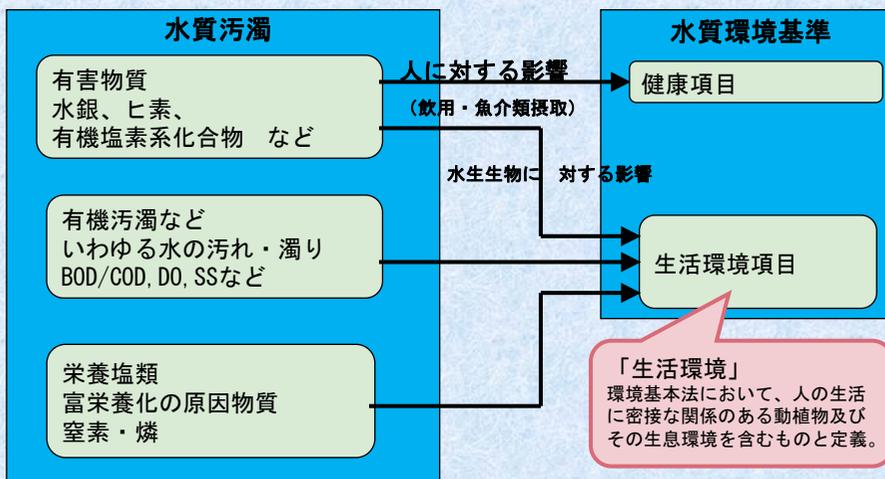
調査項目：

- 生物要素 サンゴ(被度、生育型、新規加入率、白化率)  
オニヒトデ(個体数、優占サイズ、食害率)  
その他(サンゴ食巻貝、定着性魚類個体数)
- 物理環境 位置、水深、地形、底質、堆積物、水温

## モニタリングサイト1000の位置図



## 水質汚濁に係る環境基準について



### BOD/COD

水質汚濁の最も基本的なものに水域の貧酸素化がある。水中から酸素が減少すると悪臭が発生する、水生生物が生息できなくなるなどの障害が発生する。このため、水質汚濁の指標として、直接的な溶存酸素量(DO)の他、この酸素を消費する物質を酸素量として測定する酸素消費量(O<sub>2</sub>D)が利用されている。この酸素消費量には、微生物を利用して測るBOD、化学物質を利用して測るCODがあり、環境基準では、前者を河川に、後者を湖沼、海域に用いている。

生活環境の保全に関する環境基準（海域）	人の健康の保護に関する環境基準（海域）	
<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 水素イオン濃度(pH)</li> <li>■ 化学的酸素要求量(COD)</li> <li>■ 溶存酸素量(DO)</li> <li>■ 大腸菌群数</li> <li>■ N-ヘキサン抽出物(油分等)</li> <li>■ 全窒素</li> <li>■ 全燐</li> <li>■ 全亜鉛(水生生物項目)</li> </ul> <p style="text-align: right;"><u>全8項目</u></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ カドミウム</li> <li>■ シアン</li> <li>■ 鉛</li> <li>■ 六価クロム</li> <li>■ ヒ素</li> <li>■ 水銀</li> <li>■ アルキル水銀</li> <li>■ PCB</li> <li>■ クロロタン</li> <li>■ 四塩化炭素</li> <li>■ 1,2-ジクロロエタン</li> <li>■ トリクロロエチレン</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ シマジン</li> <li>■ ベンゼン</li> <li>■ セレン</li> <li>■ 硝酸性窒素</li> <li>■ 亜硝酸性窒素</li> <li>■ ふっ素</li> <li>■ ほう素</li> </ul> <p style="text-align: right;"><u>他、全26項目</u></p>

